

・三位一体後第二十二主日

泉のほとり

マルタとマリア



今月の詩編 「第二十七編」

ひとつのことを主に願い、
命のある限り、主の家に宿り

それだけを求めよう

その宮で朝を迎えることを。
主を仰ぎ望んで喜びを得

主は「マルタ、マルタ。あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない」とお答えになりました。

マルタはもてなしの事柄、自分が働く境遇、周りが思い通りに動いてくれないことなど、多くの事柄に心がとらわれ、思い悩んでいました。苛立ち、不満、怒り、様々な思いで心を乱し、我を忘れていました。

マルタは確かに一人で多くのことをしなければなりませんでしたが、自分でもてなしを始めたのです。なすべきことをしているだけだったと言えます。しかし、彼女は常に姉妹や主の行動、振る舞いを逐一見て、忙しくしている自分と比べていたのです。その自分ゆえに、怒り、思い悩み、心を乱していました。

一方マリアはひたすら主のお話に耳を傾けていたのです。無神経に見えるかもしれません、それほどマリアは主の教えに聞こうとしていました。マルタは、そのマリアにもてなしを強いて、主のお話を聞く機会を取り上げようとしていたのです。「私がもてなすか

主イエスがマルタとマリアの家を訪れました。マルタは主の足元に座り、お話を聞き始め、マルタはもてなしのために働き始めます。マルタが忙しく立ち働く中、マリアは主の話に聞き入り、一向に手伝おうとする気配がありません。マルタは苛立ちが沸々と湧き上がり、不満が募り、「忙しくしているのが分からぬの、なぜ主は何も注意してくれないの」と心でつぶやきます。とうとう我慢の限界に達して、訴えます。

「姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。わたしの手伝いをするようにおつしやつてください」と。

主は「マルタ、マルタ。あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない」とお答えになりました。

「お話を聞いていいよ」と思いやり、配慮はなく、自分のことだけを主張していました。

このマルタのままでは、また自分が苦労していたり、誰も協力してくれなかつたら、常に人を責める、苛立ち、怒る、その思いから解放されず、つまずきは絶えないと思います。マルタこそ、主の言葉に耳を傾けなければなりません。「あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。必要なことはただ一つ」。主の言葉を通して、思い悩み、心を乱す原因は私自身にあると見る、この私を改めていきたいと、主に立ち返ることが必要です。主はその願いに生きるマルタの心を解放に向けて、導いてくださるのではないか。自分から解放されることこそ、ただ一つ必要なことだと思います。

マルタの姿を見ますと、自分自身の姿が重なつて見えてきます。思うように物事が進まないことがあると、苛立ち、つぶやいてしまう。自分だけ苦労していると、他の人のことを見て、自分と比べている。その自分ゆえに思い悩み現実があります。私たちも「あなたは多くのことに思い悩みで、心を乱している」と語られる主の言葉を聞き、この私を直していただきたい、その願いを持つていただきたいと思います。

主は十字架で、人の代わりに死なれるのです。人のために、苦しみを受け、ご自分を与えられました。しかし、主はご自分の苦しみのあとを見て、満ち足りておられたのです。主の前に私たちには「自分が苦労している」と言うことはできないのではないでしようか。主イエスの持つおられる柔軟な心を目指していきたいと思います。

2023年度

教

会全體課題

『詩篇119編を読む』

協会共同訳 ワウ（ヘブライ語の第6番目のアルファベット名称－この41節～48節

はヘブライ語聖書ではワウから始まっている。）

日々聖書に聴き、

御言葉に従つて歩む。

四一 主よ、慈しみと救いが

仰せのとおり、私に訪れますように。

四二 私を辱める者に一言、言い返します。

「私は御言葉に信頼する」と。

四三 真実の言葉を私の口から奪わないでください。

私はあなたの裁きを待ち望んでいます。

四四 あなたの律法を常に守ります。

四五 私は自由に歩みます。

あなたのお論しを尋ね求めているからです。

四六 あなたの定めを王たちの前でも話します。

四七 何ら恥じることはありません。

四八 私はあなたの戒めを愛し

それに向かつて両手を上げ

あなたの従に思いを巡らします。

（ペテロの手紙一 2章2節）

2023年度 心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、

混じりけのない靈の乳を慕い求めなさい。

これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

西川泉さん

（西川亮さん、瞳さんのご長女）

『ぶどうの会より』

○第一礼拝後にぶどうの会を行います。第二礼拝の前までです。場所はカナンルームで行います。

『今後の予定』

○二月一日 慕苑礼拝（湘南キリスト教墓苑）

○二月二日 成長感謝礼拝

役員会

『今日のお知らせ』

○十一月から報告の中で、新来者紹介を再開します。

○第二礼拝後、二時三〇分より、聖書の学び「信仰者たちに学ぶ会」を礼拝堂で開催します。今回は「ノアの信仰」（ヘブライ人への手紙一章七節）を一緒に学びます。ご参加ください。

○運営委員会、各小委員会がそれぞれ開かれます。

○第一礼拝の報告の最後に祝福式を行います。

苑で墓苑礼拝を行う予定です。お申込みされた方はご参加ください。

○第一礼拝の報告の最後に祝福式を行います。

《四国便り》

「開拓二〇周年を迎えて」（その2）

天で決められていた奇すしき出会い

H牧師は恵子ホームズさんとも御交流があり「少しご説明いたしますね」と次のように。

「彼女はイギリス在住の素晴らしいクリスチヤンです。ご主人は飛行機事故でお亡くなりになられました。がご主人の信仰を尊敬しておられます。彼女の活動の内容としては、第二次世界大戦時の日英間で捕虜となつたが無事に生還できた英兵達を探し出し、個別訪問しては、まず初めに日本人としてのお詫びをし、「心のいやしと和解」のテーマで自宅に招く。

一九九二年からは彼等を日本に招き、日本人が整備した英兵の戦没者の墓前にも彼等をおつれしています。日英の兵士達の心に刻印された激しい憎しみについて「いやしと和解」を伝えて、主なる神様の御心を中心に活動したのです。この現実はいつしかエリザベス女王陛下の耳に届いたのです。女王は感動されお喜びになり、ご自分の城であるワインザー城に恵子ホームズさんを招き、名誉ある第四級勳功章を授与されました。」とH牧師は語り、私は初めて聞く現実に感動いたしました。

それは開かれた窓からやさしいそよ風が吹いてきた様な不思議な一日でした。H牧師は最後に「実は私の親友の田端先生が、四国の小さな町で開拓伝道の牧会に励んでいる事などを全てをお詫いたしました。すると、恵子ホームズさんが『是非、お訪ねしたいです!』との事です。」

私はとてもびっくりしました。主の御心を実

践し続けておられるその尊い御方が私をお訪ね下さるとは!

しかしその秋にはすでに、御来訪を希望される牧師先生方の御予約を受けておりました。そのため私は「来年二〇二二年の秋にお待ち申上げております。」とH牧師に伝言したのでした。

主にハレルヤ！ 一つづく！

シオン・フルゴスペル・チャーチ

ヴエロニカ・田端良恵

《礼拝力テゴリーより》

今日から、第一礼拝では座席前ボケットに常備されています「第一礼拝順序」と週報「泉のほとり」四面をご覧ください。また、第二礼拝では「礼拝のしおり」と「讃美歌」をお持ちくださいますよう、お願ひいたします。「礼拝のしおり」は案内係にてお貸出もしております。

《教会事務所より》

礼拝堂の座席の染み抜きとクリーニングを行いました。椅子やカーペットを汚してしまった時には、すぐに拭き取るなどしていただき、事務所にお知らせください。設備管理にご協力をお願いします。

《今日の子ども礼拝》

説教 「安息の主」
聖書 ルカ6章1～11節
説教者 菊池美穂子副牧師

説教者 菊池美穂子副牧師
聖書 ヨハネ6章45～71節
説教者 黄允湜牧師

《次週の礼拝》

●成長感謝礼拝（午前9時30分）

讃美歌 小さい子どもの 461番
説教 「自分のそばに置くために」
聖書 マルコ3章13～19節

説教者 菊池美穂子副牧師

●第二礼拝（午前11時）

讃美歌 23番 340番

説教 「わたしの肉を食べ、血を飲む」
聖書 ヨハネ6章45～71節
説教者 黄允湜牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 79番 294番
説教 「体の休みよりも、魂の休みを」
聖書 ルカ6章1～11節(新約P111)
司式 山下 純一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 24番 238番
説教 「飢え、渴くこともない」
聖書 ヨハネ6章22～45節(新約P175)
司式 山下 純一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「神よ、その恵みによりて我を」J.G.ガルト-

○讃美歌79番

1.ほめたたえよつくりぬしを きよきみまえにひれふし
ささげまつれ身をも魂をも たぐいなき御名をあがめて
2.くすしきかななかみのちから あらぶる波をしづめて
あやうきより御民を守り、この世のなやみに勝たしむ
3.めぐみの神 さかえの主を もろごえあげてたたえよ
つよき手もてみちびきたもう
主にのみみさかえつきざれ アーメン

○讃美歌294番

1.みめぐみゆたけき 主の手にひかれて
この世の旅路を あゆむぞうれしき
＊くりかえし
たえなるみめぐみ 日に日にうけつつ
みあとをゆくこそ こよなきさちなれ
2.さびしき野べにも にぎわう
主ともにいまして われをぞみちびく
3.けわしき山路も おぐらき谷間も
主の手にすがりて やすけく過ぎまし
4.世の旅はてなば 死のかわなみをも
恐れず越えゆかん みたすけたのみで
アーメン

聖餐曲「あなたの御手の中に」J.ディメツィ-

後奏曲「アレグロ・モデラート」

(オルガン協奏曲変ロ長調より) G.ヘンデル

前奏曲「キリスト、全ての人の救い主」J.S.バッハ

○讃美歌24番

○聖歌隊による讃美

「み翼のかげに」 アイエ D.サンキ 作曲
み翼のかげに住めば 嵐すきぶ夜にも
我らに平安充ちる 主の頤いのゆえに
主の愛離れて 誰が生きられよう
み翼のかげに 平安充ちる
み翼のかげを行けば 世のこころみも喜び
悪魔の力も恐れはなし 我に平安とわに
主の愛離れて 誰が生きられよう
み翼のかげに 平安とわに充ちる
平安充ちる

○讃美歌238番

聖餐曲「あなたの御手の中に」J.ディメツィ-

後奏曲「アレグロ・モデラート」

(オルガン協奏曲変ロ長調より) G.ヘンデル

*礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。